

LAKE BIWA TRIATHLON 2025

Sustainability Report 大会レポート

最高の挑戦、全員が主役。



公式サイト



facebook



YouTube

2025
6.29

LAKE BIWA TRIATHLON 2025

「LAKE BIWA TRIATHLON」は滋賀県・琵琶湖を舞台とするミドルディスタンスのトライアスロン大会です。本大会は、琵琶湖で世界中のアスリートが参加するトライアスロンレースを開催したいとの思いから2021年にスタートし、2025年に第5回大会を開催しました。日本最大の湖・琵琶湖を舞台とした大会のコンセプトは「最高の挑戦、全員が主役」。参加するプレイヤー、地域の皆様、ボランティア、大会スタッフ、スポンサー、応援していただく方、全ての方が主役です。大会を開催することで「サステナブル」に貢献することを目指し、スポーツを通じて多様な主体が共創することで、新しい地域活性化のあり方を創造します。国内外から個人・リレー合わせ約560名のプレイヤーの皆さんが集い、トライアスロンの皆さんの最高の挑戦と、地元の皆様の応援で、最高の舞台を琵琶湖で創ります。



RACE DATA レースデータ

COURSE

SWIM 1.6^K_M

BIKE 66^K_M

RUN 18^K_M

コースマップは p4 へ
▶▶

TRIATHLETES

エイジ
(個人の部)
エントリー数 **504** 名 出走 **461** 名
完走 **429** 名

リレー
エントリー数 **20** チーム 出走 **20** チーム
完走 **19** チーム

*1チーム2名で1人2種目を担当するチームあり

VOLUNTEERS

大会
ボランティア **226** 名

地元自治会 ボランティア びわこ成蹊スポーツ大学 立命館大学 地元中学校・高校
学生ボランティア 学生ボランティア 生徒ボランティア

27 名 **27** 名 **28** 名 **61** 名

滋賀銀行・草津税務署・ 一般受付 **42** 名 **41** 名
三井住友海上など ボランティア
地元企業・団体ボランティア

TECHNICAL OFFICIALS

マーシャル (審判) **66** 名
日本トライアスロン連合(JTU)公認審判員

RACE RESULT

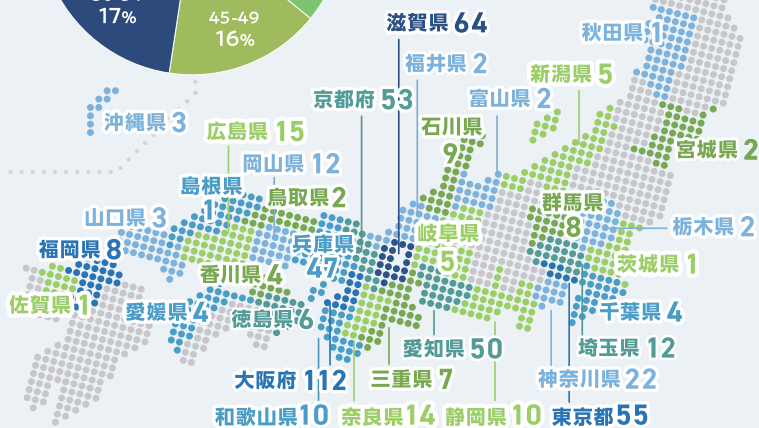
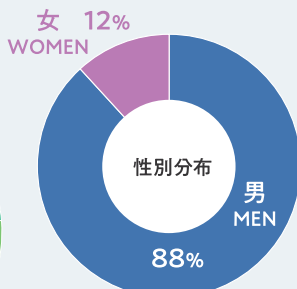
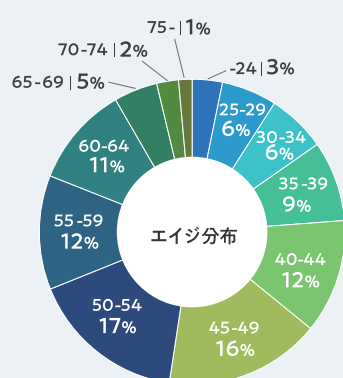
総合成績 (リザルト) はこちら ▶▶





SURVEY アンケート

エントリー選手の居住地・エイジ・ジェンダー



OFFICIAL MOVIE 大会公式映像

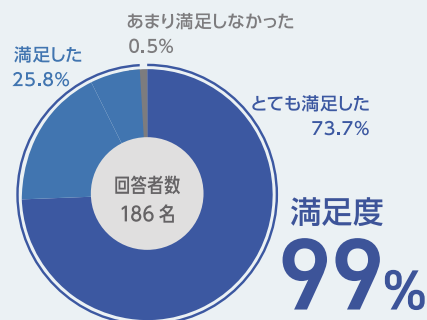


大会ダイジェスト映像は
公式YouTubeチャンネルで!

大会満足度

* 大会後に選手を対象として実施した WEB アンケート結果より

Q.「LAKE BIWA TRIATHLON 2025」に
満足しましたか?





RACE COURSE MAP

NTT TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES
2025

RACE COURSE GUIDE

LAKE BIWA TRIATHLONのコースを写真とアニメーションでご紹介する「どこよりもわかりやすいコースガイド」です。琵琶湖の周りを走る魅力あるコースをご紹介します！コースの地点番号を照らし合わせながらご覧ください。



2025. 6.29 6:30 START

SWIM 1.6 K

BIKE 66 K

RUN 18 K

SWIM 1.6km
800m × 2Lap

メイン会場 | 第2なぎさ公園
TRANSITION / START / FINISH

RUN 18km
3.6km × 5Lap

BIKE 66km

Lake Side Loop
湖岸道路 18km × 1Lap

Yasu River riverhead circuit course
野洲川河川敷周回コース 9.2km × 5Lap

メイン会場周辺マップ

*詳細はMAIN VENUE MAPをご覧ください



S START
T TRANSITION
AS AID STATION
F FINISH

キッズチャレンジアクアスロン

KIDS CHALLENGE AQUATHLON

詳細はこちら



親子のスポーツ体験を促し スポーツ人口拡大に貢献

本大会の関連イベントとして、2025年8月に本大会のメイン会場でもある守山市の第2なぎさ公園にて、地域の小学生を対象とした「LAKE BIWA TRIATHLON キッズチャレンジアクアスロン」を開催しました。今年で3回目となった本イベントでは、地元・守山市や野洲市の小学生を中心に過去最多となる82名の子どもたちにご参加いただきました。

日頃の水泳の成果を試しにきた小学生、親子で本イベントに参加する家族、子供が挑戦する姿を見て歓喜する方など、参加者それぞれにとってスポーツに親しむ機会となり、大会を通じたスポーツ人口の拡大を目指しています。

主催 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会 共催 | 守山市 / 野洲市 後援/協力 | 一般社団法人滋賀県トライアスロン協会
協賛 | 株式会社平和堂 / 株式会社ピエクレックス / サイクルヨーロッパジャパン株式会社 / ヨネックス株式会社 / ウィンクレル株式会社 / 株式会社COMARS / 株式会社かねふく / ホテルボストンプラザ草津びわ湖
協力 | 西武造園株式会社 / 琵琶湖マリオートホテル / シダックス大新東サービス株式会社 / 株式会社いずみニー

LAKE BIWA TRIATHLON チャレンジピッチ

詳細はこちら



スタートアップの提案で課題解決 「チャレンジピッチ」を実施

守山市との官民連携による取り組みの1つとして、LAKE BIWA TRIATHLONを舞台に、世界に誇る大会の実現、琵琶湖周辺での官民連携による受入環境整備に向け、社会を変革する新しい技術・サービスを持つスタートアップからの企画を募るピッチコンテスト「LAKE BIWA TRIATHLONチャレンジピッチ」を実施しました。昨年に続き2回目の開催となった今回は、全国15社のスタートアップの提案の中から、最優秀賞として株式会社Sportipによる「AI姿勢解析」の企画が選ばれ、実証実験として実施しました。

主催 | 守山市 共催 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会
運営 | 株式会社COMARS / Creww株式会社

プロ仕様の解析をすべての人に「Sportip Pro」AI姿勢解析

Sportip



筑波大学発スタートアップのSportipが提供する「Sportip Pro」は、スマートフォンで撮影した簡単な写真から、AIが人体の骨格情報を高精度に推定するAI姿勢解析システムです。姿勢の歪み、筋肉のバランス、関節の可動域などを詳細に分析し、これまでトップアスリートしかアクセスできなかった高度なバイオメカニクス分析を、誰でも手軽に体験できます。今大会では前日EXPO・大会当日のブースにて多くの方に体験いただいたほか、事前にモニター体験を実施し、スポーツテックの可能性を広げました。



運営 | 株式会社Sportip 協力 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会 / 株式会社COMARS / Creww株式会社 / IVUSA京都 立命館大学滋賀草津支部

サステナブルへの取り組み

COMMITMENT TO SUSTAINABILITY



電気で抗菌・土に還る次世代繊維を活用したフィニッシャータオル・ウェアの提供

人の動きを電気エネルギーに変える新素材「ピエクレックス」は、繊維が動くことで発生する電気エネルギーによって抗菌効果を発揮。長期使用しても抗菌効果が続き、臭いの原因となる菌にも効果がある素材です。植物由来の素材で環境にも優しく、素材は土にかえるサステナブルな新素材です。

大会開催地である野洲市に事業所のある株式会社ピエクレックスの協力により、ピエクレックス素材を使用したフィニッシャータオルおよび記念Tシャツを本大会に出場された方にプレゼントしました。また、大会運営に関わるスタッフ・ボランティアのウェアも本素材を使用しています。普段使いができるようにシンプルなデザインにし、長く着用し、不要になったら回収して分解できる仕組みです。



※抗菌効果とは、菌の増殖を抑える効果のことです
※使用状況により効果は変わります

実施主体

PIECLEX
A Murata Company

株式会社ピエクレックス

選手向けの事前発送物に地元企業で回収されたダンボールより再生されたダンボールを使用

平和堂

店舗から排出した
使用済みダンボール



丸紅フォレストリンクス

にてダンボールを再生

皆様に
お届け

大会参加選手に向けて参加賞として発送する地域特産品等の梱包に使用するダンボールについて、地元企業から排出されたダンボール古紙から作られた再生ダンボールを活用します。丸紅フォレストリンクス株式会社が提供する循環型リサイクルシステムにより、地元の大会公式スポンサーである株式会社平和堂の店舗から排出された使用済みダンボールを回収し、再生されたダンボールを使用し、選手のご自宅へ商品を配送する仕組みとなっています。地元地域で消費された資源が活用されていることを「見える化」することにより資源循環への意識向上を狙いとしています。

実施主体・協力会社

Marubeni
Forest Link

丸紅フォレストリンクス
株式会社



株式会社平和堂

有限会社杉本紙業
福山製紙株式会社
大津板紙株式会社
株式会社トーモク

食品ロスの低減・地元特産品の提供



実施主体

たねや CLUB HARIE

たねや・CLUB HARIE

ほか地元事業者

和洋菓子のたねや・CLUB HARIEグループからは、ゴールした参加者に「バームクーヘンMINI」と、人気の「どらやき」を提供いただきました。たねや・CLUB HARIEでは、食品ロス低減の取り組みをはじめ、滋賀・琵琶湖の自然を守り、持続可能にしていく取り組みを展開しています。

また、本大会では「おもてなしプレゼント」として、選手・ボランティア・審判TOを対象とした抽選会を開催しています。抽選会ではパートナー企業の協力により様々な商品を提供いただいているほか、地元の特産品として、守山漁業協同組合から湖魚の佃煮や、地元農家から新米を提供いただいています。

トライアスロンを通じて滋賀・琵琶湖の魅力を発信し、ファンを増やす取り組みです。

「LAKE BIWA TRIATHLON」では、大会コンセプトの1つに「サステナブル」を掲げ、参加者はもちろん、地元地域、事業者、自治体など多様な主体が「全員が主役」として共創し、トライアスロンというスポーツ、そして大会の開催を通じた持続可能社会への貢献を目指しています。本大会の開催地である守山市との連携を図る中、官民連携による持続可能な地方創生の実現を目指したモデル事業に取り組みました。

大会で消費する紙コップを古紙回収し製紙原料としてリサイクル



本大会では昨年に続き、レース中にエイドステーションにて水分提供に用いた大量の紙コップをリサイクルする取り組みも実施しました。使用済み紙コップは防水加工や汚れなどがあるため、可燃ごみとされることが通例でしたが、大会で使用した紙コップを古紙として回収し、製紙原料としてリサイクルを行う取り組みを丸紅フォレストリンクス株式会社の循環型リサイクルシステムにより実施しました。参加者のリサイクルへの行動意識変容を促進します。

レース会場の紙コップを含むごみ回収および分別については、びわこ成蹊スポーツ大学の学生が担い、本事業でリサイクルされた製紙原料は、ダンボールへと生まれ変わりました。

実施主体・協力会社

Marubeni
Forest LinX

丸紅フォレストリンクス
株式会社

福山製紙株式会社
信和商事株式会社

スポーツを「ささえる」活動を通して 新たなスポーツ文化を創造

守山市と連携協定を締結している、びわこ成蹊スポーツ大学では、第1回大会から大会の運営サポートを行っています。今年度は27名の学生がボランティアとして活動いただきました。実行委員の学生が中心となって大会事務局のミーティングに参加して企画案を提案するなど、当日の大会運営だけでなく共に大会を創るという面でも力を注いでいます。

また今大会では新たに立命館大学で活動する国際ボランティア学生協会（IVUSA 京都）立命館大学滋賀草津支部の大学生のみならずボランティアとして参画いただきました。IVUSAの皆さんは、大会前にスイムコースである琵琶湖の水草刈りにご協力いただき、安全なコースづくりをサポートいただきました。

今回新たに地元の中高校生がボランティアとして参加し、大学生らとともに交通規制案内や給水補助、救護活動、サステナブルな大会となるためのゴミ分別の呼びかけ、そしてメッセージボードを掲げた笑顔の応援などを実施。選手が安全に、かつレースに集中できる環境づくりを支えました。



実施主体・
協力団体等

びわこ成蹊
スポーツ大学

国際ボランティア学生協会
(IVUSA京都)
立命館大学滋賀草津支部

守山市内の中学校・
守山北高等学校の
生徒の皆さん

MEKIMEKI体操で選手も観客も楽しく運動



本大会レース開催前の開会式では、今年初めて「MEKIMEKI体操」を日本郵政グループの「カラダうごかせ!ニッポン!」プロジェクトの一環として実施しました。MEKIMEKI体操は昨年の第4回Sport in Life Award大賞を受賞しており、本大会を通じた取り組みで第3回アワードを受賞した守山市とともに、アワード受賞団体同士がタッグを組んだ取り組みとなりました。びわこ成蹊スポーツ大学の学生の皆さんにも協力いただき、体操の際にはサポーターと一緒に前列で体操。MEKIMEKI体操は全国のトライアスロン大会で採用されていますが、今大会でも選手をはじめ地元の方、応援いただいたみなさんと一体となって楽しく体操を実施しました。

実施主体・
協力団体等

日本郵政グループ

びわこ成蹊
スポーツ大学

最高の挑戦、全員が主役



- 主催 LAKE BIWA TRIATHLON 実行委員会（主たる運営者 CEEPO INTERNATIONAL Co.,Ltd. / 実行委員長：田中知行）
- 共催 守山市 / 野洲市
- 後援 滋賀県 / 近江八幡市 / 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 / 守山商工会議所 / 守山湖岸振興会 / 守山市観光物産協会 / 野洲市商工会 / 野洲市観光物産協会
公益社団法人びわこビジターズビューロー / 公益財団法人滋賀県交通安全協会 / 守山野洲交通安全協会 / 公益財団法人守山文化体育振興事業団 / 守山市スポーツ協会
滋賀県自転車軽自動車商業協同組合守山野洲支部 / 一般社団法人滋賀県自転車競技連盟 / 近江守山ライオンズクラブ / 守山ロータリークラブ /
公益社団法人日本トライアスロン連合
- トップパートナー
株式会社ビエクレックス / 株式会社平和堂
- オフィシャルパートナー
サイクルヨーロッパジャパン株式会社 / マヴィックジャパン株式会社 / ヨネックス株式会社 / 味の素株式会社 /
MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社
- パートナー・サプライヤー
琵琶湖マリオットホテル / オン・ジャパン株式会社 / たねや・CLUB HARIE / 株式会社COMARS /
佐川急便株式会社 / 株式会社滋賀銀行 / 日本コカ・コーラ株式会社 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 /
Crewww株式会社 / メディ・ジャパン株式会社 / サンボルト株式会社 / 旭化成ホームズ株式会社 / 株式会社ハーベスト /
株式会社ANTY'S / 株式会社ミカレア / 江崎グリコ株式会社 / 株式会社ジェイテクト / CYCOLOGYジャパン / 株式会社サブスリーラボ ほか
- 協力 野洲川下流土地改良区 / 西武造園グループ / シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 / TAC・ナショナルメンテナンス共同事業 / 草津税務署 /
びわこ成蹊スポーツ大学 / 国際ボランティア学生協会 (IVUSA 京都) 立命館大学滋賀草津支部 ほか
- メカニック協力 GIANT JAPAN / キヨシ商会
- 競技主管 一般社団法人滋賀県トライアスロン協会